

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 27日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 長野県須坂市大字小河原4062-3

氏名 信濃高原食品株式会社
代表取締役社長 春日 靖史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-245-6835

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	信濃高原食品株式会社 富士小山工場
事業場の所在地	静岡県駿東郡小山町小山1-1
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

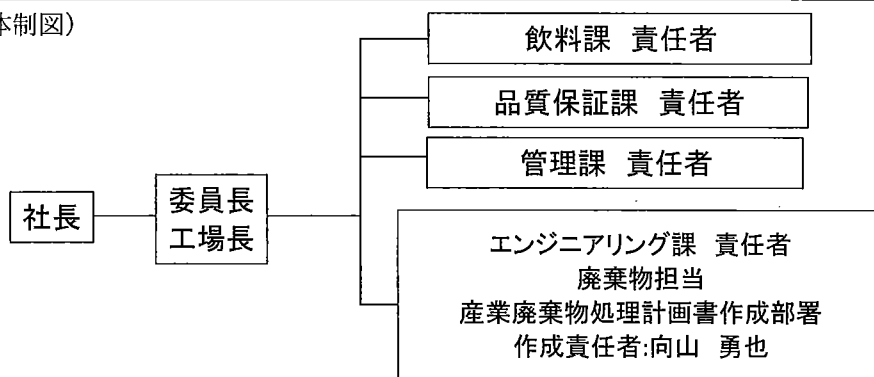
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	清涼飲料水製造業
② 事業の規模	製造品出荷数 1900万ケース
③ 従業員数	150名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	①お茶飲料抽出設備→抽出済茶葉貯留→残渣(発生)→委託処分(肥料化) ②排水処理設備→汚泥(発生)→自己中間処理(脱水→自己中間処理汚泥→委託処分(肥料化)) ③工場内各所より廃プラスチック類 →委託処分(破碎・リサイクル) ④調合設備 → 廃酸(発生) → 委託処分(バイオマス・焼却)

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙1 参照
	排出量	別紙1 参照
	(これまでに実施した取組) 別紙1 参照	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙1 参照
	排出量	別紙1 参照
	(今後実施する予定の取組) 別紙1 参照	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 年1回の省エネ・廃棄物勉強会の実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 年1回の省エネ・廃棄物勉強会の実施

廃棄物の種類	①現状		②計画	
	前年度(2020)実績		目標	
	排出量	これまでに実施した取組	排出量	今後実施する予定の取組
動植物性残渣	2370t	特になし	2300 t	脱水設備の改造
廃酸	15 t	特になし	50 t	特になし
廃プラスチック	603 t	特になし	600 t	特になし
汚泥	22439 t	特になし	22000 t	特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2 参照
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙2 参照
	(これまでに実施した取組) 別紙2 参照	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2 参照
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙2 参照
	(今後実施する予定の取組) 別紙2 参照	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（2020年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3 参照
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3 参照
	(これまでに実施した取組) 別紙3 参照	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3 参照
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3 参照
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3 参照
	(今後実施する予定の取組) 別紙3 参照	

別紙2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	①現状		②計画	
	前年度(2020)実績	目標	自ら再生利用を行 う 産業廃棄物の量	今後実施する予定の取組
廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	これまでに実施した取組		
動植物性残渣	0 t	自ら利用は行っていない。	0 t	今後も自ら利用を行う計画は無い。
廃酸	0t	自ら利用は行っていない。	0 t	今後も自ら利用を行う計画は無い。
廃プラスチック	0t	自ら利用は行っていない。	0 t	今後も自ら利用を行う計画は無い。
汚泥	0t	自ら利用は行っていない。	0 t	今後も自ら利用を行う計画は無い。

別紙3

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		①現状			②計画		
		前年度(2020)実績			目標		
廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	これまでに実施した取組	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	(今後実施する予定の取組)	
動植物性残渣	0 t	0 t	特になし	0 t	0 t	特になし	
廃酸	0 t	0 t	特になし	0 t	0 t	特になし	
廃プラスチック	0 t	0 t	特になし	0 t	0 t	特になし	
汚泥	0 t	21164 t	2016年の工場立ち上げ時に、最新側脱水機を導入済み	0 t	21000 t	汚泥減容剤の検討	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ - 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行う予定は無い。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	全処理委託量	2370 t	649 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	649 t
	再生利用業者への処理委託量	2370 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特にございません。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（2018年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(これまでに実施した取組) 産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分を行う予定は無い。			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（2020年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸	
	全処理委託量	1275 t	15 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
		再生利用業者への処理委託量	1275 t	15 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 廃酸はバイオマス発電業者へ				

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	廃プラスチック
	全処理委託量	2300 t	600 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	600 t
	再生利用業者への処理委託量	2300 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃酸
	全処理委託量	1200 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1200 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
※事務処理欄			